

WAKU WAKU! 株主通信

2010年2月期 2009年3月1日～2010年2月28日

[証券コード:3337]

新しいコンビニエンスストアを目指して

成熟段階に近づきつつあるコンビニエンスストア業界において、当社は将来の成長には新しい「コンビニエンスストア作りが不可欠である」と考えています。今後、異業種との提携を積極的に行うことで、これまでにない新しいスタイルのコンビニエンスストアを創造し、他社との差別化に取組んでまいります。組織改編で新たに設置した新業態開発本部では、異業種との提携による新業態店の開発をはじめ、様々なスタイルの「コンビニエンスストア作り」を検討してまいります。

コカラファインホールディングスとの業務提携を発表

2009年12月21日、ドラッグストアチェーン「セガミ」および「セイジョー」の運営等を行う株式会社「コカラファインホールディングス」(以下、コカラファインHD)との業務提携を発表しました。会見に出席した当社中村社長は、「ドラッグや

介護のノウハウを導入し、売場の活性化を実現するとともに、将来的にはサークルKサンクスを高齢者に優しい「コンビニにしたい」と熱い思いを語りました。

今後両社は、ドラッグストアとコンビニエンスストアを融合した新業態店の開発、

調剤薬局店頭を活用したミニ「コンビニ」などの新たなコ

ラボ出店に取組んでまいりま

す。また、将来的には、処方

箋やドラッグストア通販商

品の受渡し拠点としてのコン

ビ活用など、「高齢者に優

しいコンビニ」に向けた検討

も行います。お互いのノウ

ハウをフル活用することで、今

回の業務提携を早期に実の

あるものにできるよう、両

社で協力してまいります。



写真中央左側 サークルKサンクス 中村社長、中央右側 コカラファインHD 塚本社長

新業態店の開発

新たな コラボ・スタイル



マーチャン ダイジング相互支援

人材の 育成と交流

カーシェアリングに本格参入!

当社は、株式会社日本カーシェアリングと提携し、1月よりカーシェアリングサービスの導入を開始しました。首都圏の店舗を中心に導入を進めるほか、今後は関西や中京地区などにも拡大を検討してまいります。

カーシェアリングは、利用時間に応じて料金が加算されるため、大変経済的です。節約志向から都心部を中心にマイカーを所有しない人が増えており、今後さらに需要の拡大が予想されます。サービス全般は提携先が運

「コンビニ」が新たなインフラに 電気自動車の充電スタンドを導入

CO2排出削減に向けた電気自動車の普及を見据え、店舗経営指導員(SV)が店舗巡回時に使用する車両として、トヨタ自動車株式会社のプラグインハイブリッド車(PHV)の実験導入を開始したほか、店舗駐車場を活用した充電スタンドの設置を進めています。社会インフラとしての「コンビニエンスストア」の新たな機能を検討してまいります。



用し、店舗では駐車場の提供とレジでの決済対応などを行います。今回のサービスの導入により、お客様の利便性の向上を図り、来店機会の増加や新規顧客の獲得につなげてまいります。

目次

01 株主の皆さまへ	02 連結決算の概況	04 要約財務諸表	07 WAKUWAKU! トピックス	10 コンビニエンスストア業界比較	13 IRニュース
	03 次期の見通し	05 WAKUWAKU! 最前線	09 社会的責任への取り組み	11 株主様アンケート結果のご報告	14 株式情報/会社情報

株主の皆さまへ



代表取締役社長

中村 元彦

株主の皆さまには、平素より当社へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当期は、冷夏などの天候要因や消費低迷に加え、いわゆるタスポ効果の反動もあり、客数・客単価が減少し既存店売上高は伸び悩みました。一方、全社員が一丸となって経費削減に努めた結果、販売費及び一般管理費は計画を大幅に下回ることができました。しかし、売上不振による営業総利益の減少を補えず、利益面では減益となりました。

当社は、次期の経営方針を「全員で考え行動する」に決めました。当社が抱える課題や問題を具体的な数値で「見える化」し、全員で考え早期に解決してまいります。また、お客様が楽しいと思っただけのお店や商品を作るためにも、まずは加盟店や社員がともに「Enjoy」しながら、常に新しいことにチャレンジしていきたいと考えています。

新年度を始めるにあたり、組織改編を実施しました。次期の組織体制では、運営部門と開発部門を統合し営業本部を設置するとともに、4つに分けていた地域本部を6つに細分化し、きめ細やかな地域戦略を遂行してまいります。また、店舗経営指導員（SV）、店舗開発担当者とともにブランド別担当制を廃止したことにより、合併以来念願だった組織の完全な一本化が完了しました。このほか、表紙でもご紹介の通り、新業態開発本部を新設し、今後の成長に欠かせない新しいコンビニエンスストア作りに取り組んでまいります。

次期は、本部コストを徹底的に削減し、加盟店の売上・利益支援策の拡充に取り組む考えです。また、商品開発面では、引き続き当社の3大ブランドである「Cherie Dolce」「おいしいパン生活」「rubetta」の育成を強化するほか、客数が減少している時間帯に特化した販売促進策にもチャレンジしてまいります。新サービスについては、株主様からご要望の高かった「QUOカード」を導入するほか、東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）が展開する「Suica」がご利用可能になります。お客様の利便性向上を図り、客数増加や新規顧客の獲得につなげたいと考えています。

なお、期末配当金につきましては、計画通り1株当たり20円とさせていただきます。また、次期についても減益の見通しではありますが、安定配当を維持し、年間配当金は1株当たり40円を予定しています。

2010年はサークルKとサンクスのそれぞれの1号店が開店してから30周年を迎える節目の年になります。今後もお客様に愛されるチェーンとなれるよう、加盟店と本部が一体となって取り組んでまいります。株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株主還元について

当社は、将来の事業成長を維持するのに必要な経営基盤を強化するため、内部留保を充実させながら、利益成長に応じて株主の皆様に利益還元を行うことを基本方針としています。

配当について

安定配当の維持を第一に考えながら、連結配当性向30%以上を目処に株主還元を実施してまいります。

1株当たり年間配当金【配当性向】

2009年2月期：	40円【35.5%】
2010年2月期：	40円【60.3%】
2011年2月期（予）：	40円【65.8%】

株主優待制度について

当社ではサークルK・サンクス全店でご利用いただける「株主様ご優待カード」を下表の通り株数に応じて年2回進呈しています。下記*を除くすべての商品のお支払いにご利用いただけます。なお、今回の株主様ご優待カードは、サークルKとサンクスの創立30周年を記念したデザインとしました。



株主様ご優待カードの有効期限については裏表紙のカレンダーをご覧ください。なお、有効期限を過ぎたカードはご利用いただけませんのでご了承ください。
※「株主様ご優待カード」をご利用いただけないもの
・料金収納、オンライン決済、店頭受取サービス、スマートビット決済、スポーツ振興くじ、電子マネーEdyへのチャージ（入金）

ご所有株式数	株主優待内容
100～499株	1,000円分 (年2,000円分)
500～999株	2,500円分 (年5,000円分)
1,000株以上	5,000円分 (年10,000円分)

連結決算の概況

出店および閉店について

期末店舗数は、
39店純増の5,302店
となりました

当社グループとして38都道府県目の事業エリアとなる福岡県への出店を果たしました。当期は福岡県の11店を含む316店を出店し、277店を閉店しました。この結果、39店純増し、期末店舗数は5,302店となりました。なお、当期も店舗の「質」を重視した出店を進めましたが、タスポ効果の反動や消費不振などにより、新店日販（単体ベース）は前期を4万1千円下回る41万4千円となりました。

売上状況について

既存店売上高前年比は
5.6%減となりました

当期は、お客様の低価格志向への対応として、398円の「オテゴロ弁当」シリーズを展開したほか、当社の看板ブランドであるオリジナルデザート「Cherie Dolce（シェリエドルチェ）」から、焼菓子・半生菓子シリーズ「Cherie Dolce a（アルファ）」を発売し売上に貢献しました。しかしながら、当期は消費低迷や低価格志向、冷夏などの天候要因に加え、いわゆるタスポ効果の反動もあり、既存店売上高は前年を5.6%下回りました（単体ベース）。この結果、チェーン全店売上高は前期を379億1千4百万円下回る9,023億1千8百万円となりました。また、売上高の減少に伴い加盟店からの収入が減少したほか、自営店の削減が進んだことによる自営店売上高の減少により、営業総収入は192億5千5百万円減収の1,941億4千2百万円となりました。

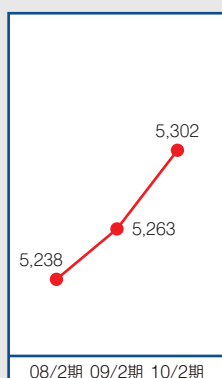
連結業績について

大幅な経費削減を
実施しました

前期までに実施した大型の設備投資に伴う関連費用の増加により、販売費及び一般管理費は増加する計画でしたが、費用対効果の追求やムダの削減を徹底したことにより、前期実績を6億円削減することができました。しかし、売上高の減少に伴う営業総利益の減少を補えず、営業利益は前期比33.9%減の151億9千9百万円となりました。また、経常利益は前期比35.3%減の146億7百万円、当期純利益は前期比41.1%減の55億5千4百万円となりました。

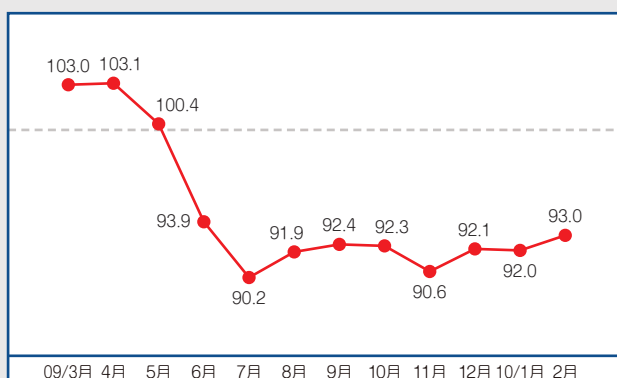
期末店舗数

（単位：店）



既存店売上高前年比 月次推移

（単位：%）



連結業績ハイライト

（単位：百万円）

	10/2期	前期比
チェーン全店売上高	902,318	-4.0%
営業総収入	194,142	-9.0%
営業総利益	129,782	-6.1%
営業利益	15,199	-33.9%
経常利益	14,607	-35.3%
当期純利益	5,554	-41.1%

次期の見通し

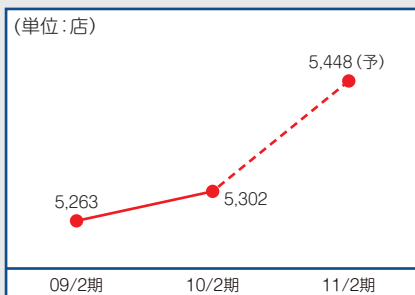
2011年2月期 連結業績予想

次期より、エリアフランチャイザーの株式会社サンクス・ホクリアが連結子会社に加わり、当社の連結子会社は合計8社となります。

期末店舗数 5,448店（146店純増）

店舗開発は、一定の店舗純増数を確保しながら、店舗の「質」を重視した出店を行い、新店日販の向上を実現してまいります。出店数・閉店数については、出店348店、閉店302店を計画しています。

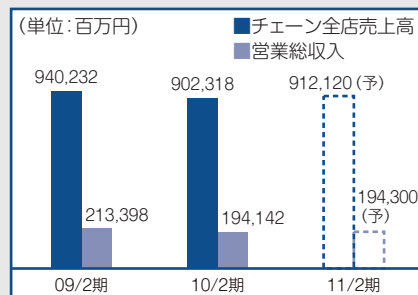
なお、次期は連結子会社が1社増加するため、146店純増し、期末店舗数は5,448店となる見込みです。



チェーン全店売上高 9,121億2千万円（前期比1.1%増加）

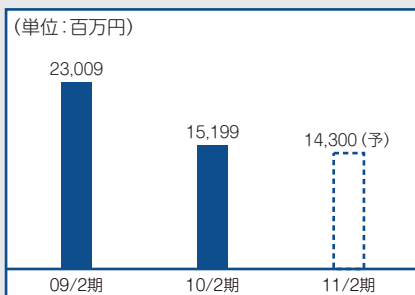
営業総収入 1,943億円（前期比0.1%増加）

消費の低迷は今しばらく続くものと予想されますが、夏場以降は前年の冷夏の反動もあり回復基調を見込んでいます。また、次期より連結子会社が1社増えることなどにより、営業総収入は前期を上回る計画です。



営業利益 143億円（前期比5.9%減少）

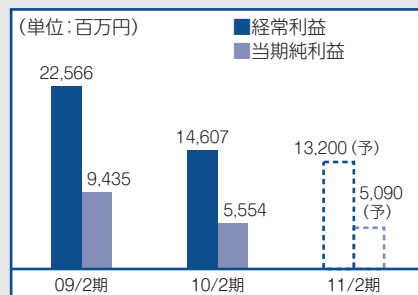
本部のスリム化やムダ削減の徹底による大幅な経費削減とあわせて、次期は加盟店の売上・利益を支援する費用を拡充します。販売費及び一般管理費が前期より増加する見通しとなることから、次期は減益を見込んでいます。



経常利益 132億円（前期比9.6%減少）

当期純利益 50億9千万円（前期比8.4%減少）

営業利益の減少に伴い、経常利益は前期比9.6%減の132億円を見込んでいます。また、特別損失が前期を下回ることから、当期純利益は前期比8.4%減の50億9千万円となる見通しです。



2011年2月期の
ここが
ポイント!

「さらなるコスト削減」と「加盟店支援策の強化」

次期も個人消費の急速な回復は期待できず、引き続き厳しい売上状況が続くものと予想されます。一方、売上の減少を補うために、次期はさらなるムダ削減の徹底により、本部コストの大幅な削減に取り組んでまいります。また、削減した経費の一部を加盟店支援策の強化に充てることで、加盟店利益の向上を目指してまいります。

2011年2月期 主な加盟店支援強化策

- ①SV加盟店販促費 → 個店の営業力強化のため、1店当たり年間10万円を支給
- ②値引き方法の変更 → 加盟店の売上・荒利益向上を支援
- ③テレビCMの増加 → 商品が主役のテレビCMに変更するほか、全国テレビCMの投入回数を増やす

要約財務諸表

連結損益計算書

(単位:百万円)

	2009年2月期 2008年3月1日～ 2009年2月28日	2010年2月期 2009年3月1日～ 2010年2月28日	増減
チェーン全店売上高	940,232	902,318	△37,914
営業総収入	213,398	194,142	△19,255
営業総利益	138,285	129,782	△8,503
販売費及び一般管理費	115,276	114,583	△693
営業利益	23,009	15,199	△7,810
経常利益	22,566	14,607	△7,958
当期純利益	9,435	5,554	△3,880

営業総収入

P.2でご紹介の通り、当期は売上が伸び悩み、加盟店からの収入は前期比48億8千5百万円減の989億3千2百万円となりました。また、自営店の削減を推し進めたことから、自営店の売上高が前期比145億3千万円減少した結果、営業総収入は前期比192億5千5百万円減の1,941億4千2百万円となりました。

販売費及び一般管理費

前期までに店舗システムや新サービス導入に伴う大型の設備投資を実施したことから、当期は減価償却費が前期に比べ24億8千4百万円増加しました。また、当期からの新リース会計基準の適用により、設備リース料は前期比4億2千2百万円減少しました。販売費及び一般管理費は計画を大幅に下回るコスト削減をし、前期比では6億9千3百万円減となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2009年2月期 2009年2月28日現在	2010年2月期 2010年2月28日現在	増減
流動資産	92,328	89,919	△2,408
固定資産	129,976	134,923	+4,946
有形固定資産	49,572	60,068	+10,495
無形固定資産	12,088	11,776	△312
投資その他の資産	68,315	63,078	△5,236
流動負債	77,091	71,956	△5,135
固定負債	14,556	20,055	+5,498
純資産	130,656	132,831	+2,175
総資産	222,305	224,843	+2,538

総資産

当期から新リース会計基準を適用しました。そのため、固定資産にリース資産を115億4千9百万円、固定負債にはリース債務60億6千1百万円、流動負債に一年以内に返済するリース債務12億8千7百万円を計上しました。リース資産・債務の増加などを受け、固定資産は49億4千6百万円増の1,349億2千3百万円、負債合計は3億6千2百万円増の920億1千1百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2009年2月期 2008年3月1日～ 2009年2月28日	2010年2月期 2009年3月1日～ 2010年2月28日	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,525	15,921	△6,603
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,731	△10,895	+11,835
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,640	△4,631	△991
現金及び現金同等物の増減額	△3,846	394	+4,240
現金及び現金同等物の期首残高	66,763	62,916	△3,846
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	188	+188
現金及び現金同等物の期末残高	62,916	63,499	+582

現金及び現金同等物の期末残高

当期は売上の減少を受け、税金等調整前当期純利益が前期比71億7千5百万円減少したことから、営業活動によるキャッシュ・フローは66億3百万円減少しました。一方、投資活動によるキャッシュ・フローは、新システム・サービス機器の導入を進めた前期に比べ、118億3千5百万円支出減の△108億9千5百万円となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは△46億3千1百万円でした。この結果、2010年2月末の現金及び現金同等物残高は前期に比べ5億8千2百万円増加し、634億9千9百万円となりました。

WAKU WAKU! 最前線

2010年度 サービス戦略

店頭マルチメディア端末「カルワザステーション」と連動した「カルワザクーポン」の発行に加え、「ボーナスポイント」の付与など、サークルKサンクスの会員組織「カルワザクラブ」のサービスの拡大により、お客様の囲い込みを図ってまいります。また、新たな決済手段も導入することで、客数増加や新規顧客の獲得に取組みます。

7月よりJR東日本エリア内の店舗で「Suica」がご利用可能に!

電子マネー「Edy」や「QUICPay」、「Visa Touch (SmartPlus)」、「iD」での決済に加え、「Suica」の取扱いサービスを開始します。また、ポイント交換でも、サークルKサンクスの会員組織「カルワザクラブ」とSuicaが連携した新たなサービスを実施します。このようなコンビニエンスストア独自の会員サービスとSuicaとの連携は、コンビニ業界初の取組みとなります。カルワザクラブの会員数は、3月末には57万人を超え、順調に増加しています。今後JR東日本をはじめ、パートナー企業の会員組織との連携を強化することにより、次期は会員数100万人達成を目指してまいります。



7月より「QUOカード」の取扱いサービス開始!

「QUOカード」は全国共通の商品券で、国が実施しているグリーン家電エコポイントの交換商品に採用されているほか、贈り物や景品としても利用されるなど、近年カードの発行枚数が拡大しています。また、株主様アンケートでも、「QUOカードを使えるようにして欲しい」とのご要望を毎回多数いただいていた。今回の取扱い開始により、ギフト需要の取込みを図るほか、お客様の利便性の向上を図ってまいります。



サークルKサンクスオリジナルデザインQUOカード(3千円券、5千円券、1万円券)も販売します。

2010年度 商品戦略

引き続き3大ブランド「Cherie Dolce」「おいしいパン生活」「rubetta」を強化します。また、新機軸の商品にもチャレンジし、お客様の多様化する生活シーンに対応した商品、売場の実現を目指してまいります。

オリジナルデザート「Cherie Dolce」はスイーツの総合ブランドへ



「Cherie Dolce」では、すでに展開中のチルドデザート、焼菓子・半生菓子「Cherie Dolce a」に加え、4月より新シリーズとしてカップタイプのチルド飲料を展開し、「スイーツの総合ブランド」を目指しブランドの強化を図ってまいります。

チルドデザート

「天使のクリーム」を使用したデザートとして4月より「天使シリーズ」として発売しています。「天使のクリーム」とは、北海道産純生クリームをメインに使用した、ミルクのkokoronaな味わいが決め手のクリームです。また、4月には天使シリーズにスポットを当てたテレビCMを放映しました。



「天使のクリーミーシフォン」
(230円)



「天使のクリーミーシュー」
(150円)



6月3日発売予定:
「オトナの贅沢 木苺レアチーズ」(230円)
贅沢な材料をふんだんに使用し、「Cherie Dolce」が持つ「高級感」をさらに高めたプレミアム感のあるデザートです。



「半熟カステラ」(120円)
とろける食感が話題の「半熟カステラ」です。

新登場!

チルド飲料シリーズ

「Cherie Dolce」のさらなるブランド強化として、4月より新たにチルド飲料シリーズの展開を開始しました。チルド飲料シリーズでは、「本格・上質」を追求したデザートと一緒に飲みたいコーヒー・紅茶類を品揃えすることで、デザートとの買い合わせによる客単価のアップを目指します。また、まるでデザートを食べているような「本格的な飲むスイーツ」も展開しています。

直火でゆっくり時間をかけて焙煎したコーヒーは、ミルクに負けないコクがあり、大容量の320mlも最後までおいしく飲みきれます。



「ふんわりカフェオレ」
(210円)



左から順に
「莓のミルフィーユラテ」(168円)
「チョコレート〜生チョコ仕立て〜」(168円)
「ブルーベリーチーズケーキラテ」(189円)
「イタリアンエスプレッソ」(150円)
「香ばしブラック」(150円)
「薫る紅茶オレ」(150円)

Cherie Dolce

焼菓子・半生菓子シリーズ「Cherie Dolce α」は、豊富な品揃えと気軽に購入できるスイーツという商品特性が特に女性のお客様に支持され、11月の発売以来売上は好調に推移しています。今後もさらに幅広い品揃えを実現してまいります。

「白い伊予柑ケーキ」
(135円)



メレンゲを使うことで実現した真っ白な生地のふんわりとした食感と、愛媛県産伊予柑の爽やかな風味が楽しめます。

新ブランド「蒸スコと蒸スメ」誕生

季節を問わずに既存のスチーマー什器を活用し、売上をすることはできないか?そんな担当バイヤーの熱い思いから、蒸しパンの新ブランド「蒸スコと蒸スメ」が3月に誕生しました。季節に関係なく好まれる蒸しパンなどの商品は、新たな売上を創出するチャレンジとなります。小腹が空いた時のおやつにぴったりの蒸しパンをぜひお試しください!

「もちモチ白たいやき」
(105円)



「包み焼きピザ
(ベーコン&チーズ)」
(125円)



「ホットドッグ」
(105円)



「蒸しパン(プレーン)」
(78円)



「蒸しパン(チョコチップ)」
(88円)



「蒸しパン(チョコチップ)」
(88円)



「蒸しパン(きんぴら)」
(88円)

時間帯別

マーチャンダイジング

朝昼晩とお客様のニーズは刻々と変化します。次期は、時間帯別のお客様ニーズの変化を捉えたマーチャンダイジングや販売促進策を強化します。朝食や夕食に適した商品品揃えの充実、タイムセールやセットメニューなどを展開することで、売上の向上を図ります。

ロングライフ商品

当社は、長時間販売・保存が可能なロングライフのパンや惣菜などの取扱いを開始します。ロングライフ商品の導入により、買い置き需要への対応を図るほか、ピークタイム以外の品揃えの充実と売場の商品量をアップすることで、新たな売上につなげる考えです。また、従来のお弁当に加え、ご飯とおかずとなる惣菜を組み合わせて購入できるように、惣菜の品揃えの強化やセット販売にも取り組んでまいります。

※2010年4月末時点の商品です。
※上記の商品は店舗によって取扱いのない場合があります。

WAKU WAKU! トピックス

当社では、お客様に愛されるお店作りの一環として、地産地消企画「MOT（もっと）プロジェクト」を11の地域で展開しています（2010年4月現在）。また、当社はこれまでに22道府県と「連携と協力に関する包括協定」を締結し（2010年4月現在）、特産品の販売促進や県政情報の発信、観光情報の提供など様々な項目において、地域に密着した取組みを行っています。

「FOOD ACTION NIPPON アワード2009」優秀賞受賞

食料自給率向上に寄与する活動が認められ、当社の地産地消推進運動「MOTプロジェクト」の取組みが「FOOD ACTION NIPPON アワード2009」のコミュニケーション・啓発部門において優秀賞を受賞しました。



「大阪産（もん）こだわり弁当コンテスト」

当社は大阪府と共同で、「大阪産（もん）こだわり弁当コンテスト」を2009年10月に開催しました。コンテストの最優秀者には、大阪府の橋下徹知事から知事賞が授与され、そのレシピをもとに開発された商品を2010年1月に発売しました。



「アイガモ有機米」のお弁当

九州地区では、福岡、熊本、鹿児島 の3県で九州MOTプロジェクトを展開しています。2009年11月には、アイガモ水稻同時作で栽培した有機米を使用したお弁当を鹿児島県立鹿屋農業高校と共同開発するなど、産学連携による商品作りにも力を入れています。



瀬戸内のご当地グルメを商品化

瀬戸内エリアで注目を集めているご当地グルメ3品を「瀬戸内8級グルメフェア」と銘打ち、広島県と岡山県の店舗にて2009年9月に販売しました。



「津山名物ホルモンうどん」
(480円)

九州

中国

関西

パンの耳を食べて育ったオリジナルブランド豚「リ・ポーク」

2010年2月期第2四半期の株主通信でもご紹介したオリジナルブランド豚「リ・ポーク」は、小麦を原料としたパンの耳を食べて育つため、臭みがなく甘みのある肉質が特徴です。このパンの耳をリサイクルした飼料は、社団法人日本科学飼料協会によるエコフィードの認証を受けています。「リ・ポーク」を使った商品は、2009年8月の発売から2010年4月までに計9アイテムの商品が発売され、お客様からご好評をいただいています。



WAKU WAKU! 豆知識

オリジナルブランド豚「リ・ポーク」は、サンドイッチ工場で従来廃棄していた食パンの耳を食べて育ちます。「リ・ポーク」が食べる食パンの耳は年間でなんと約180トン! 「リ・ポーク」は美味しいうえにエコなのです。



「豚生姜焼き」(480円)

四国

「地産地消の学生食堂2009」

「地産地消を学生が考える」を共通テーマに、北陸地区の大学・短大・高校の6校と共同開発した商品を2009年10月に9品発売しました。学生の皆さんには、商品コンセプトや商品名、使用する食材、具体的な味付けなど、商品企画・開発の全体にわたって参加していただきました。



「青春の味!? 学校メニュー弁当」
(498円)

北陸

“生産者の顔が見える商品”を発売

「平成21年度 生産者がつくる愛食料理コンテスト」に協賛し、コンテストに出品されたレシピをもとに開発した商品を2010年4月に発売しました。コンテストで「サークルKサンクス賞」を受賞した「いもピザ」は、地元のお客様に“生産者の顔が見える商品”としてご好評をいただきました。



「いもピザ」(435円)

北海道

平成20年岩手・宮城内陸地震復興支援企画

当社では、2008年に発生した「平成20年岩手・宮城内陸地震」の復興支援企画として、岩手県と宮城県の食材を使用した商品を販売する「笑顔応援フェア!」を2009年5月から6月にかけて東北地区の店舗で開催しました。また、商品の売上の2%相当額である60万円を当社から義援金として寄託しました。

東北

甲信越

長野県駒ヶ根名物「いな垣」店主監修 「ソースかつ丼」を全国販売

2009年2月に長野県内の店舗にて3週間の期間限定で販売した「ソースかつ丼」は、お客様からのご好評にお応えし、2009年6月に全国で発売しました。



「ソースかつ丼 (いな垣監修)」(550円)

関東

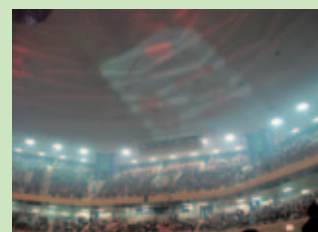
番外編

「Cherie Dolce_Super LIVE」を開催!

サークルKサンクス合併5周年を記念して、2010年2月に豪華アーティスト共演の「Cherie Dolce_Super LIVE」を東京・名古屋・大阪の3会場で開催しました。ライブには、2009年11月に実施した「Cherie Dolce」ブランド誕生2周年フェアの抽選キャンペーンに当選されたお客様をはじめ、多くのお客様が来場され、大いに盛り上がりしました。



東京会場は日本武道館で開催されました



オープニングでは、開演を告げるサークルKサンクスのロゴが武道館を覆いつくしました

「名古屋開府400年祭」応援弁当を発売

名古屋市との包括協定締結を記念して、「名古屋開府400年弁当」を2010年1月に発売しました。そのほかにも、「味噌かつ弁当」や「あんかけスパゲティ」、「天むす」など名古屋名物の商品で開府400年祭を盛り上げました。



「名古屋開府400年弁当」(758円)

東海

社会的責任への取り組み

カルワザクラブで社会貢献活動に参加

当社では、サークルKサンクスの会員組織「カルワザクラブ」のカルポイントと交換で募金を受付けています。募金は1口100ポイントからで、店頭募金と連動し、各団体に寄付されます。募金は、店舗に設置されている店頭マルチメディア端末「カルワザステーション」やカルワザクラブのホームページで簡単に行うことができます。

また、「カルワザクラブ」では、カルポイントと交換できる賞品としてCO₂（二酸化炭素）の排出権を用意しています。お客様からお申し込みをいただいた排出権は、月毎にまとめて国に寄付を行っており、2008年12月1日のサービス開始から2010年2月16日までに交換された排出権は153トン分にもなります。気軽にカーボンオフセット活動に参加できる仕組みをご提供することで、京都議定書で定められた温室効果ガス削減目標達成に貢献してまいります。

もっと
知りたい!

ポイント交換“CO₂排出権”

CO₂排出権のポイント交換は、
50kgと500円プレカード付き10kgの2種類があります。



250ポイントで一□
CO₂排出権50kg



550ポイントで一□
プレカード500円分と
CO₂排出権10kgのセット

ご交換いただいた内容はカルワザクラブのホームページで報告しています。



店頭募金のご報告

当社では、1年を3期間に分け、期間毎に下記の寄託先への店頭募金を実施しています。2009年度は多くのお客様のご支援・ご協力により、募金金額はカルポイント交換分を含む65,333,871円に上りました。また、2009年9月に発生したインドネシアの「スマトラ島沖・サモア諸島沖地震」では、被災者支援を目的とした緊急募金を実施し、日本赤十字社を通じて11,506,518円を寄託したほか、2010年1月に発生した「ハイチ大地震」でも、29,518,215円を寄託しました。

実施期間	寄託先	募金金額
2009年4月～7月	全国盲導犬普及キャンペーン	28,441,974円 (129,150円)
2009年8月～11月	緑の募金	15,631,808円 (205,000円)
2009年12月～2010年3月	ユニセフ募金	21,260,089円 (94,850円)

※1 ユニセフ募金の募金金額は5月10日時点での速報値です。

※2 募金金額には、()内のカルポイント交換分を含みます。

加盟店と共にカンボジアの学校建設を応援しています

当社では、2003年度より毎年、企業活動から得られる利益の一部を特定非営利活動法人「JHP・学校をつくる会」に寄託し、カンボジアに小・中学校の校舎を建設する活動を支援しています。2009年度より、運営キャンペーンで優秀賞を受賞した上位10店の加盟店も校舎建設支援に参加しました。2009年度の支援により建設されたカーポー小学校（愛称：「みんなの夢学校」）の校舎には、加盟店の店名を刻んだプレートが掲げられています。「みんなの夢学校」は、これで7校目となり、約4,100人の子どもたちが勉強に励んでいます。



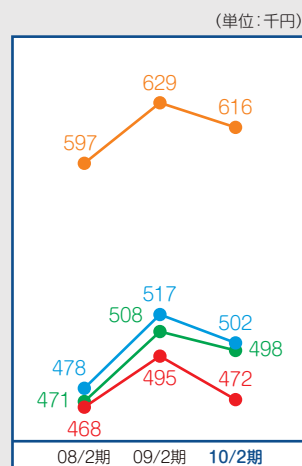
コンビニエンスストア業界比較

● サークルKサンクス ● セブン-イレブン ● ローソン ● ファミリーマート

全店日販

1日1店当たり平均売上高

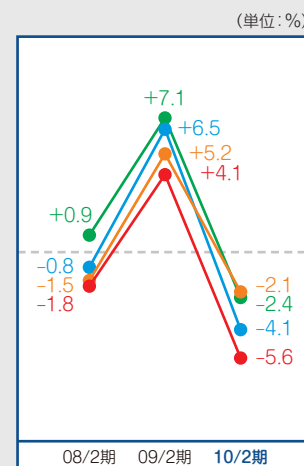
当期は、長引く個人消費の低迷や夏場の天候不順の影響により、4社ともに前期を下回りました。セブン-イレブンは1万3千円減少したほか、ローソンが1万5千円減、ファミリーマートが1万円減、サークルKサンクスが2万3千円減となりました。



既存店売上高前年比

既存店 (=開店後1年以上経過した店) の売上高前年比

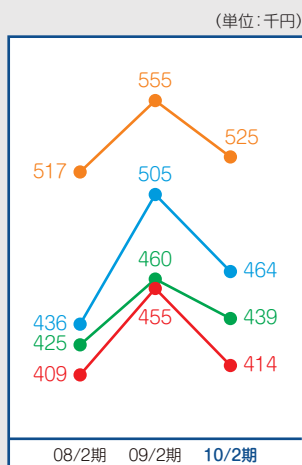
前期はタスポ効果による売上の好調もあり、全社が前年比プラスでしたが、当期は一転して4社ともに前年比マイナスとなりました。セブン-イレブンは2.1%減となり、ローソンが4.1%減、ファミリーマートが2.4%減、サークルKサンクスが5.6%減となりました。



新店日販

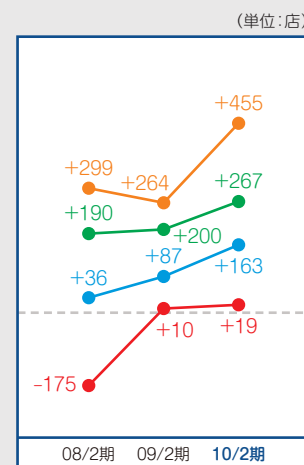
新店 (=開店後1年以内の店) の1日1店当たり平均売上高

当期の4社の新店日販は前期を下回りました。前期比では、サークルKサンクスとローソンがそれぞれ4万1千円減となったほか、セブン-イレブンが3万円減、ファミリーマートは2万1千円減となりました。



店舗純増減数

当期は、4社ともに前期を上回る店舗数純増となりました。なお、2010年2月末のエリアフランチャイザーを除く国内の店舗数は、セブン-イレブン12,753店、ローソン8,629店、ファミリーマート7,158店、サークルKサンクス4,958店でした。



コンビニエンスストア(CVS) 業界データ

(単位: 億円)

	2007年	2008年	2009年
CVS業界売上高	74,895	79,427	79,809
(上位4社売上高占有率)	79.6%	80.6%	80.0%
CVS業界店舗数	40,405	40,745	41,724
(上位4社売上高占有率)	79.8%	80.3%	80.3%

- ※ 1. 各社実績は、各社のホームページにて開示の決算発表資料より引用しました。
 2. 各社の数値は単体ベースです。なお、ローソンの店舗数にはナチュラルローソンが、ファミリーマートの店舗数にはTOMONYが含まれています。
 3. コンビニエンスストア業界売上高および店舗数は、「経済産業省経済産業政策局調査統計部編 商業販売統計月報」より引用しました。
 4. 上位4社売上高・店舗数占有率は、業界上位4位内の各社の数値を期ごとに合計したものから算出し、エリアフランチャイザーの数値を除いております。

コンビニエンスストア業界の動向

コンビニエンスストア業界の成長スピードは鈍化の傾向を示しながらも、毎年着実に伸長しています。2009年の売上高は前年比0.5%増の7兆9,809億円となったほか、日本国内の店舗数は2009年2月末には4万1千店を突破し、ともに前年を上回りました。

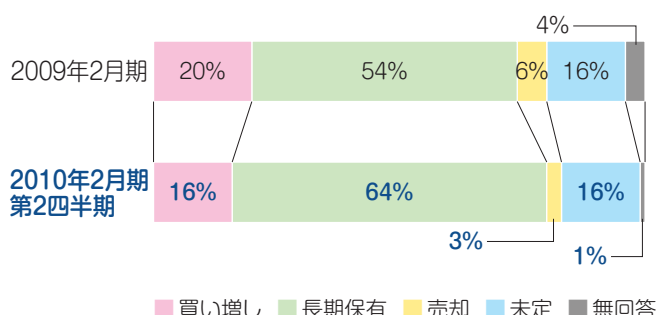
株主様アンケート結果のご報告

「2010年2月期第2四半期WAKUWAKU! 株主通信」において、アンケートを実施させていただきましたところ、972名の方よりご回答をお寄せいただきました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。



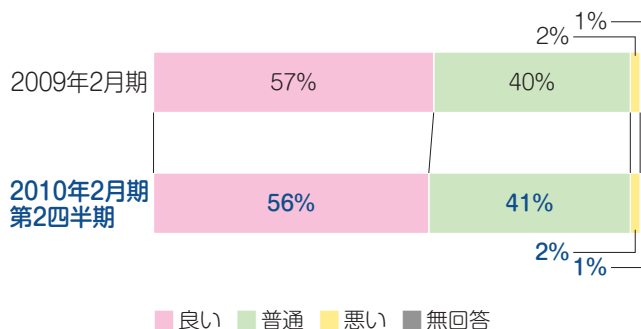
Q1. 今後、当社株式について どのような方針をお持ちですか？

2009年2月期と比べ「買い増し」「売却」「無回答」がそれぞれ減少した一方、「長期保有」が10%増と大きく増加しました。



Q2. 当社IR（投資家向け広報）について、 どう思われますか？

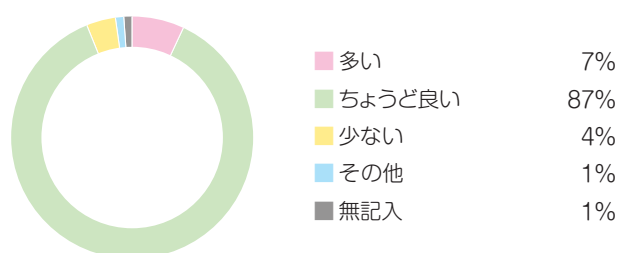
2009年2月期と比べIRへのご評価に大きな変化はなく、「良い」とのご評価は56%となりました。「良い」理由として、「株主通信など、株主への姿勢に好感が持てる」などのご意見を頂戴しました。



Q3. 株主通信をご覧になった感想をお知らせください。

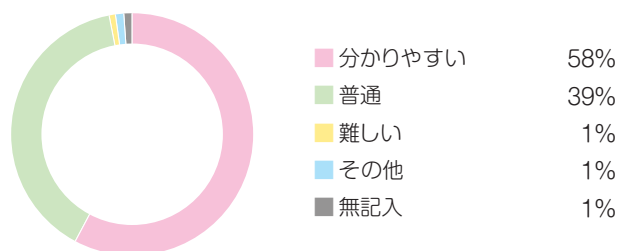
■ 情報量について

87%に上る大変多くの株主様より「ちょうど良い」とのご評価をいただきました。「ちょうど良い」理由として、「商品やお店の情報が多く面白かった」などのご感想を頂戴しました。



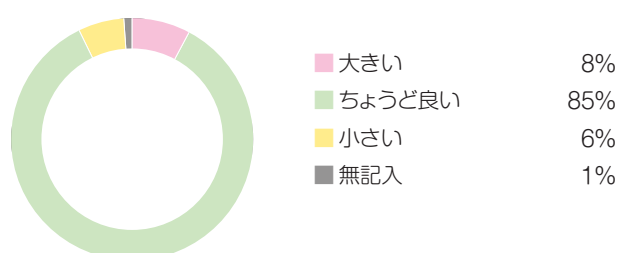
■ 文章・内容について

半数以上の株主様より「分かりやすい」とのご評価をいただいたほか、「私の知っている事業報告書の中では一番分かりやすい」など大変嬉しいご感想を頂戴しました。今後も内容のさらなる充実を図ってまいります。



■ 文字・グラフの大きさについて

「ちょうど良い」が85%と非常に高いご評価をいただいたほか、「大判印刷でグラフや写真が見やすい」などのご感想を頂戴しました。



TOPIC! 株主通信を全面リニューアルしました！

すでにお気づきの株主様もいらっしゃると思いますが、今回株主通信を一新しました。今回の株主通信は、さらに読みやすい誌面作りを目指し、以前のB5サイズからより大きなA4サイズに変更しています。また、コンパクトに折りたためる形式に変更することで制作コストの削減も実現しました。同封のアンケートはがきにて、株主通信のご感想をご記入いただける項目を設けましたので、ぜひご感想をお聞かせください。

頂戴したご意見・ご質問より

「健康に配慮したお弁当を作って欲しい。」

サークルKサンクスでは、2006年7月に栄養とカラダのバランスを考えたオリジナルブランド「THINK BODY (シンクボディ)」を立ち上げ、お客様の健康へのニーズに対応した商品を展開しています。THINK BODYでは、忙しい現代人のライフスタイルにあわせ、旬の食材を選び、美味しさにも栄養にもこだわったバラエティ豊かな商品を開発しています。

また、当社ホームページのTHINK BODY専用サイトでは、商品情報に加え、食事と運動にまつわるお役立ち情報を発信することで“食事とカラダのベストバランス”をご提案しています。ぜひご覧ください！



「THINK BODY チキン南蛮弁当」
(460円)

「おいしくて環境にもやさしい商品開発ができませんか？」

4月にリニューアルを実施した高付加価値おにぎりシリーズ「本むすび」では、農薬と化学肥料の使用を宮城県慣行栽培基準の半分以下に抑えて作られた「みやぎの環境保全米ひとめぼれ」を使用しています。環境負担の軽減と人の健康を考えているだけではなく、財団法人日本穀物検定協会により最高ランクの「特A米」に分類されているおいしいお米です。また、5月より新たに立ち上げた寿司の新シリーズ「初代シャリの銀次」では、植物資源から製造されるバイオマス・プラスチックを30%使った環境配慮型容器を使用しています。従来の石油100%のプラスチック容器に比べ、化石資源を節約できるほか、焼却時に発生する二酸化炭素は、植物が大気中から吸収したものであるため、新たに二酸化炭素を増加させないといわれています。



「本むすび 銀鮭あわせ」
(158円)

「いなり寿司3個入り」
(190円)

「にぎり寿司盛り合わせ」
(498円)

「カルワザクラブ会員がお得そうだが、サービス内容がよく分からない。」

カルワザクラブとは、サークルKサンクスの会員組織のことです。パソコンや携帯電話、または店舗に設置された店頭マルチメディア端末「カルワザステーション」にて、お手持ちの電子マネーEdy(エディ)を会員登録することができます。会員登録されたEdyでは、下記のサービスがご利用いただけます。

■「カルワザ値引き」

会員登録されたEdyでのお支払いで、対象商品が割引になります。

■「カルポイント」

ご利用金額に応じてカルポイントが貯まります。貯まったポイントは当社店舗でのお買い物に使えるプレカードのほか、P.9でご紹介のCO₂排出権や募金などの賞品とも交換することができます。

また、次期には新たな会員サービスとして、値引きなどのクーポン券をカルワザステーションで発行できる「カルワザクーポン」に加え、対象商品を購入した際に「単品ボーナスポイント」を付与するサービスを開始します。

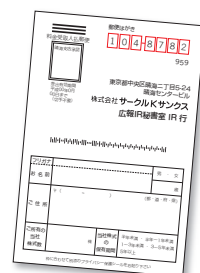


「カルワザカード」
Edyを搭載した「カルワザカード」(300円)を
店頭にて好評販売中です。

お知らせ

株主様アンケート実施回数変更のお知らせ

次期より、株主様アンケートの実施回数を年2回から、本決算発表後の株主通信での年1回に変更いたします。そのため、今回のアンケートは「2011年2月期WAKUWAKU! 株主通信」での実施となります。実施回数の変更にあたり、今回同封のアンケートにて、できるだけ多くの株主様のご意見をお聞かせいただきたいと考えておりますので、アンケートへのご協力をお願いいたします。



「2010年2月期第2四半期WAKUWAKU! 株主通信」を含む過去の株主通信は、当社IRサイトの「IR資料室」にてご覧いただけます。

<http://www.circleksunkus.jp/company/investor/data/wakuwaku.html>

IRニュース

サークルKサンクスIRサイトを全面リニューアルしました

<http://www.circleksunkus.jp/company/investor/index.html>

当社では、より便利にご利用いただけるIRサイトを目指し、3月1日に全面リニューアルを実施しました。今回のリニューアルでは、より簡単にお探しの情報に行きつけるようにレイアウトを見直したほか、新規コンテンツも追加しました。その他にも最新情報をタイムリーにご提供していますので、ぜひご覧ください。



当社IRサイトは、情報の充実や使いやすさにおいて、各評価機関から高い評価をいただいています。

業績ハイライト

主要な営業・財務数値データについて、通期ベースではグラフとともに解説付きでわかりやすく説明しているほか、四半期ごとの推移もグラフで掲載しています。

IR資料室

適時開示資料はもちろん、株主通信をはじめ、当社の基礎的な仕組みや業績データ、業界比較も網羅した「投資家ガイドブック」もご覧いただけます。



個人投資家の皆さまへ

当社のことから業界の動向までを5分間でわかりやすく解説した「5分でわかる!サークルKサンクス」を新規コンテンツとして追加しました。その他にも、「WAKUWAKU!豆知識」など当社をより深くご理解いただけるコンテンツが満載です!

IRメール配信サービス

メールアドレスをご登録いただくと、IRに関する新着情報をメールにてお知らせいたします。簡単にご登録・解除が可能ですので、ぜひご利用ください。

よくあるご質問

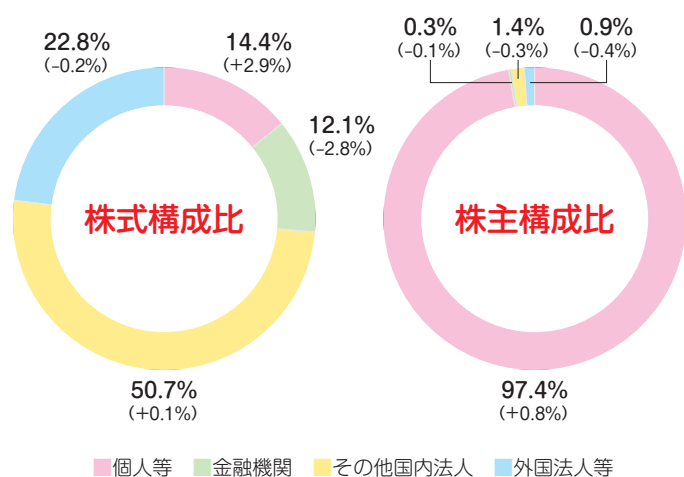
よくあるご質問の「株式関連」では、「配当金はいつ頃いただけますか?」など、配当金や株主優待に関してお問い合わせの多いご質問をまとめています。そのほか、「会社概要関連」「経営情報関連」「決算・財務関連」に関するよくあるご質問も掲載していますので、困った時はぜひご覧ください。

「個人投資家向け説明会」に参加しました

当社では、多くの個人投資家の皆様に、今後の事業戦略や当社株式の魅力をご理解いただけるよう、2009年12月1日に名古屋証券取引所主催の「第24回企業研究セミナー」(個人投資家向け説明会)に参加しました。当日は232名の個人投資家の皆様にご参加のもと、プレゼンテーションと質疑応答を行いました。説明会で使用したプレゼンテーション資料は、当社ホームページの「IRイベント」にてご覧いただけます。



株式情報／会社情報



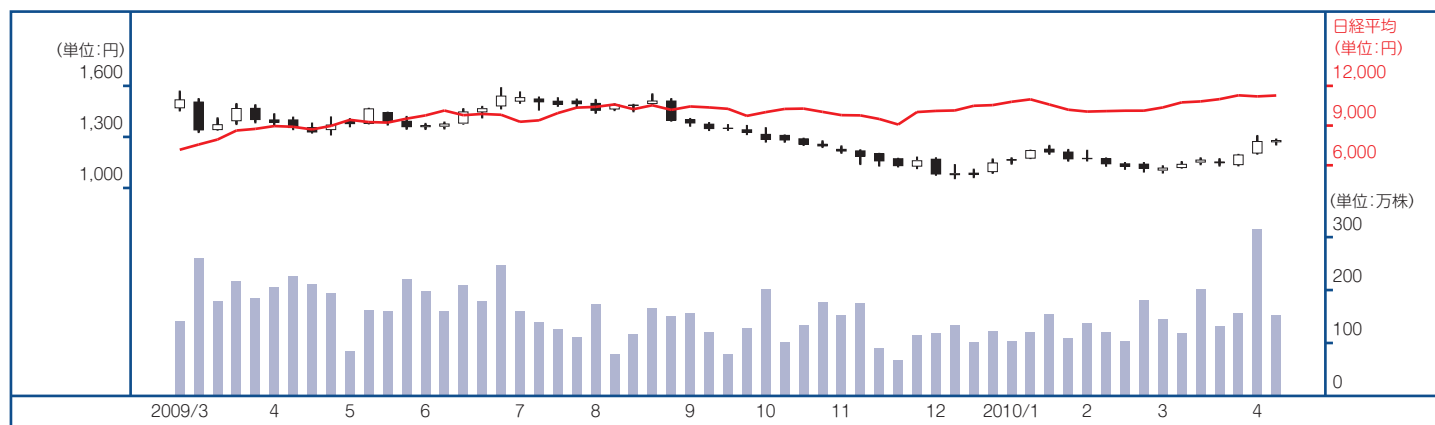
※1. ()内は2009年2月期末比です。

※2. 個人等には、役員、社員持株会及び自己株式を含みます。

株主数の推移

2008年2月期末	21,311名
2009年2月期末	20,968名
2010年2月期末	28,238名

株価・出来高および日経平均株価の推移



会社概要

商号	株式会社サークルKサンクス
本部所在地	〒104-8538 東京都中央区晴海2-5-24 晴海センタービル
電話番号	03-6220-9000 (代表)
登記上本店所在地	愛知県稲沢市天池五反町1番地
ホームページアドレス	http://www.circleksunkus.jp/
設立	2001年7月2日 (注)
資本金	83億8,040万円
発行済株式総数	86,183,226株
銘柄コード	3337 サークルKS
従業員数	1,759名

※サークルKサンクスの前身であるサークルケイ・ジャパン株式会社が、持株会社の株式会社シーアンドエス発足に伴い会社分割した日です。会社分割前のサークルケイ・ジャパン株式会社は1984年1月26日に設立されております。

大株主 (上位10位)

株主名	持株数(株)	持株比率
1 ユニー株式会社	40,746,521	47.28%
2 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社	5,935,400	6.89%
3 日本マスタートラスト 信託銀行株式会社	1,717,300	1.99%
4 メロン バンク エヌエー アズ エー ジョイント フォー イツ クライアント メロン オムニバス ユーエス ペンション	1,188,700	1.38%
5 ザ バンク オブ ニューヨーク ノントリーティアー ジャスデックアカウント	842,698	0.98%
6 ステートストリート バンク アンド トラスト カンパニー	805,055	0.93%
7 資産管理サービス信託銀行株式会社	789,400	0.92%
8 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエー ロンドン エスイーシーエス レンディング オムニバス	743,125	0.86%
9 ザ チェース マンハッタン バンク エヌエー ロンドン	738,436	0.86%
10 アールビーシー デクシアインベスターサービス バンクアカウントルクセンブルグ ノンレジデント ドメスティックレート	713,300	0.83%

※当社は自己株式2,429,263株を所有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

役員のご紹介 (2010年5月26日現在)

取締役会長	土方 清
代表取締役社長	中村 元彦
常務取締役 (総務人事本部長)	山田 克己
取締役 (システム本部長)	高橋 一夫
取締役 (経理財務本部長)	山口 利隆
取締役 (営業本部長)	高橋 順
取締役 (非常勤)	佐々木 孝治
常勤監査役	高須 邦夫
常勤監査役	吉城 正明
監査役	春木 英成
監査役	吉田 龍美

※1. 取締役 佐々木孝治は社外取締役です。

※2. 監査役 春木英成、吉田龍美は社外監査役です。

株主様お役立ち情報

株主様カレンダー

2010.5.26

第9回定時株主総会開催

- ①配当関係書類
(100株以上所有の株主様へ進呈)
- ②株主様ご優待カード
- ③本冊子を発送



2010.5.27

配当金振り込みの方

↓
本日付でご指定の口座へ
振り込まれます

2010.5.27—6.28

配当金領収証受け取りの方

↓
ゆうちょ銀行および郵便局
でお受け取りになれます

(6.29以降はお近くの
住友信託銀行にて
お受け取り下さい)

2010.5.31

株主様ご優待カード
ご利用最終日
(2009年春発行分)

優待カードの
ご利用は
お早めに!



2010.7.1 (予定)

2011年2月期第1四半期
決算発表

2010.8.16—8.31

単元未満株式買増し
手続き停止期間

2010.8.26

サークルKサンクス
権利付株式最終売買日

↓
8.27—8.31に当社株をご
購入されても、2010年8
月末における配当・優待の
権利は得られません

2010.8.31

2011年2月期第2四半期末

2010.10.1 (予定)

2011年2月期第2四半期
決算発表

2010.11.30

株主様ご優待カード
ご利用最終日
(2009年秋発行分)

優待カードの
ご利用は
お早めに!



株式に関するご案内

株券電子化の実施に伴い、株式に関するお手続きは、原則としてお取引先の証券会社にお問い合わせいただくことになります。ただし、証券会社に口座を開設されていない株主様の株式は、当社が住友信託銀行に開設している「特別口座」で管理しています。そのため特別口座をご利用の株主様は、右記の住友信託銀行にお問い合わせください。また、住友信託銀行株式会社の全国各本支店でもお取次ぎします。なお、未受領の配当金、配当金領収書の紛失、株主様ご優待カード、合併以前の株式につきましては、証券会社に口座を開設されている株主様も、引き続き住友信託銀行で承ります。

まずは株主様の株式が、証券会社の口座か特別口座のどちらに預けられているかをお調べください。

「証券会社に口座を開設されていますか？」

はい

お取引先の証券
会社にお問い合わせ
ください

いいえ

住友信託銀行
(特別口座の口
座管理機関)に
お問い合わせ
ください

株主様メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月開催

基準日 定時株主総会：毎年2月末日
期末配当金：毎年2月末日
中間配当金：毎年8月31日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所および名古屋証券取引所市場第一部

公告方法

電子公告。ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(インターネットホームページURL)

<http://www.circleksunkus.jp/company/investor/announce/index.html>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネットホームページURL)

<http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>



サークルKサンクスは
チャレンジ25キャンペーンに参加しています。

